

政策III 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成

令和元年度の主な施策の実施状況

①UIJターン・高校生等の多様な担い手の確保に向けた研修会開催等の取組を実施した。



高校生向けの就業ガイダンス

【概要】

- 山仕事ガイダンス 26人参加
- 高校生向け就業ガイダンス 5人参加
- インターンシップ開催支援 2事業体 (12人)
- 就業用機械準備支援 6事業体



林業の現場見学

②高度な技能を有し集約施業を実践する地域リーダーとなる人材の育成や、就労環境の改善に向け支援した。



オペレーター育成に向けた実習

【概要】

- 経営者層研修 10事業体 (11人)
- 森林施業プランナー実践研修 11事業体 (15人)
- 森林施業プランナー養成研修 7人
- 森林作業道作設オペレーター育成研修 延べ62人
- 意欲と能力のある林業経営者の選定 29団体
- 安全装具の購入補助 17事業体

③特用林産物を活用した地域産業の振興に向けて、しいたけ、きくらげの販路拡大の支援や、タケノコのメンマへの加工指導などに取り組んだ。



地元のタケノコを加工したメンマ



しいたけ販売会による支援

【概要】

- 生産技術向上
- 販売促進支援 21回
- 研究開発・技術実証 3件



「はたけしめじ」の開発

④森林の造成に必要な不可欠な苗木のうち、無花粉スギの開発研究や、少花粉スギの生産拡大に向けた取組を行った。



少花粉スギ種子



少花粉スギの育苗 (ミストハウス)

【概要】

- 少花粉スギ種子生産 種子供給量 0.4kg
- 発根済苗供給量 88,440本

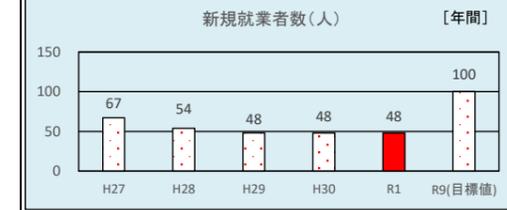


少花粉スギ発根済苗の生産

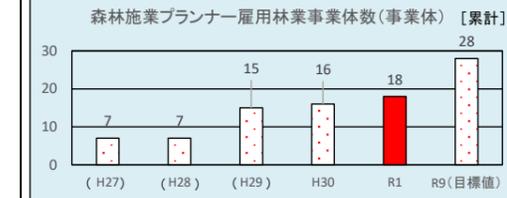
⑤自然や森林について県民に分かりやすく解説する専門家を養成するため、森林インストラクター及びみやぎ自然環境サポーター養成講座を開催した。

主な目標指標の達成状況 ()=参考値

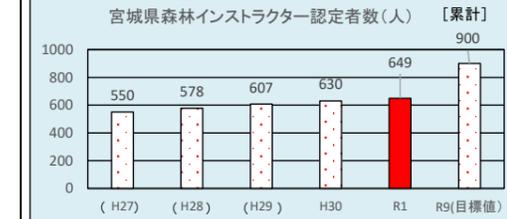
◎新規就業数



◎森林施業プランナー雇用林業事業体数



◎宮城県森林インストラクター認定者数



令和2年度の主な取組

●林業・森林整備の担い手の定着や多様な担い手の確保・育成を図る。
【みやぎの里山ビジネス推進事業】
【(新規)林業新規就業者確保対策事業】

●森林整備を担う林業事業体の経営改善を支援し、林業労働力の育成確保を図るほか、高度な技能を有する人材の育成や就労環境改善を行う。
【森林整備担い手対策事業】

●特用林産物の販路拡大に向け、生産技術向上や技術実証等の支援を行う。
【特用林産物地産地消推進事業】

●新たな木材利用技術の開発普及に向けた試験研究や、きのこの野外栽培品種の開発などの調査研究を推進する。
【県単独試験研究・国庫試験研究事業】

●県民参加の森林づくり活動などを通じ、自然環境の保全や森林、林業・木材産業と県民生活の関わりについて、県民理解の醸成を図る。
【森林環境共生事業】

政策IV 東日本大震災からの復興と発展

令和元年度の主な施策の実施状況

①津波により、流出・倒木等の甚大な被害が発生した海岸防災林(潮害、飛砂防備保安林)の早期復旧に向け、植栽等の造成を進めた。



抵抗性クロマツによる海岸防災林の造成



【概要】

- 海岸防災林の復旧 県事業 48ha
- 国直轄 115ha
- 民間団体 6ha



②特用林産物の出荷制限解除や生産拡大に向け、放射性物質検査の徹底や生産資材購入支援等を行った。



竹林の放射性物質低減対策

【概要】

- 放射性物質検査(食品) 902件
- 原木しいたけ等出荷制限解除者数 5件
- 生産資材購入支援 10件
- ほだ木等原木林再生実証 26箇所
- 各種試験研究の実施
- しいたけ原木林の利用再開に向けた萌芽等の放射性物質の推移に関する研究等



民間団体による植樹・育林活動



首都圏での海岸防災林の紹介



放射性物質対策を行った原木しいたけ栽培



萌芽更新の放射性物質低減調査

③企業等と連携した料理教室や販売会の開催を通じて、特用林産物のPRを図ったほか、GAP取得に係る支援を行った。



企業と連携したきのこ販売会



きのこ料理教室



きのこ料理

【概要】

- 特用林産物販売会 6回
- GAP認定支援 2件
- 料理教室 2回

④持続可能な森林経営を目指すため、森林認証の取得や森林認証材を使用した製品開発等への支援を行った。



森林認証を受けた森林(南三陸町)

【概要】

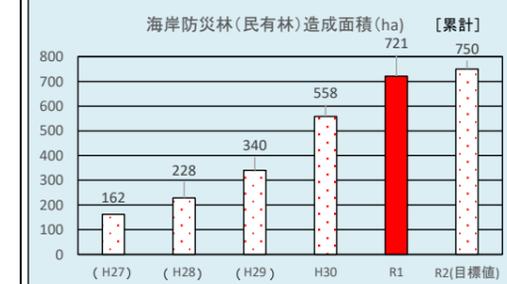
- 森林認証材使用製品開発支援 2団体
- 森林認証年次監査の支援 2団体
- 森林認証普及活動 1回



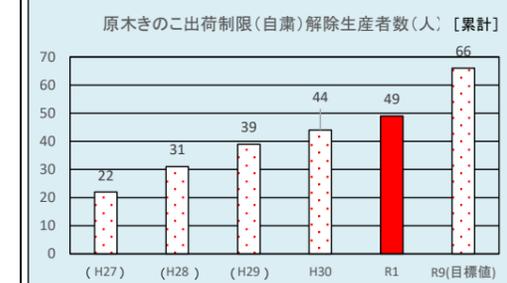
認証材による木の香りスプレー

主な目標指標の達成状況 ()=参考値

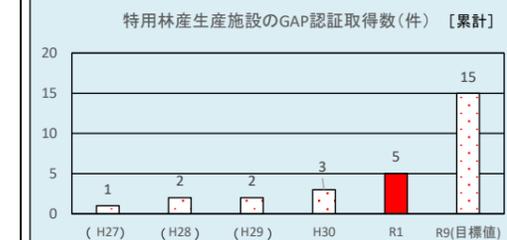
◎海岸防災林(民有林)造成面積



◎原木きのこ出荷制限(自粛)解除生産者数



◎特用林産物生産施設のGAP認証取得数



令和2年度の主な取組

●海岸防災林の早期復旧に向け、植栽等の事業を実施する。
【防災林造林事業】

●民間団体等との継続的な連携による海岸防災林の管理体制のあり方を検討する。
【みやぎ防災林パートナーシップ事業】

●特用林産物の放射性物質検査を徹底し安全性を確認する。
【特用林産物放射性物質対策事業】

●出荷制限解除後の安定した経営体制づくりに向けて、生産資材の購入等の支援を行う。
【特用林産物地産地消推進事業】

●森林所有者を対象とした認証森林拡大や森林管理協議会(FSC)の年次監査受検、製品開発等の取組を支援する。
【森林マネジメント認証普及促進事業】

●登米市森林管理協議会が実施するFSC認証製品の安定供給に向けた「林業成長産業化構想(登米地域)」の取組を支援する。
【林業成長産業化地域創出モデル事業】

